

五中・夢バトン

豊中市立第五中学校
学校だより
平成31年(2019年)
2月18日
発行責任: 校長 石井 武

★3年生：公立高校入試、1・2年生：学年末テストに向けて

「勇往邁進」、全力で挑みましょう!

3年生は私立高校等の入試を終えました。ほとんどの人は人生初の入学試験で、大変な緊張感を味わったことだと思います。本当にお疲れさまでした。次は公立高校入試です。明日、明後日と特別選抜入試が実施され、一般選抜受験校決定に向けた三者懇談も20日(水)から始まります。まだまだ緊張の日々が続きますが、悔いを残すことのないよう精一杯の力を発揮してほしいと思います。



私立高校等専願で合格した人は、進路が決定しホッとしていると思いますが、自分だけ合格すればよいのではなく、65期生113名全員の進路が決定するまで、“One for All, All for One”(ひとりみんなのために、みんなはひとりのために)の精神を大事にして、仲間のために今、自分ができるところを考えた学校生活を送ってくれることを心から期待してします!

また、1・2年生は、20日(水)から今年度最後の定期考査「学年末テスト」が始まります。集中した授業態度は言うまでもなく、提出物や家庭学習にしっかり取り組み、体調を整えてこれまでの努力と頑張った成果を思う存分発揮してください。五中生みんなの健闘を祈っています!

※「勇往邁進」(ゆうおうまいしん)・・・どんな困難にもひるまず、自分の目標に向かって、わき目もふらずにまっすぐ前進すること。

	2/20(水)		2/21(木)		2/22(金)	
	1限	2限	1限	2限	1限	2限
1年	社	国	英	理	数	保体
2年	国	数	理	英	社	保体



待たれているから

宮澤 章二

時には あたかな目で
時には きびしい目で
ぼくらを一心に待っているものが
はるかな行く手に 高く手をあげている

前途が つねに快晴とは限らない
明るかったり暗かったりするけれど
雨や雪が一年中降りつづくことなどない



一心に待たれているから
ぼくらは 一心に生きることが出来る
一心に歩きつづけることが出来る

歩きながら 心と投げる視線の先
はるかに待っていてくれるものの光が
足元にまで美しくとどいている
——その光を ぼくらは <未来> と呼ぶ

「行為の意味/青春前期のきみたちに」
ごま書房新社より

★「ありがとうを歌う会」で心のハーモニーを・・・



「一致団結」、学級・学年・学校、みんなの気持ちをひとつに！

＜ありがとうを歌う会の実施目的＞

- ①合唱する喜びを味わう。
- ②合唱の取り組みの中で、クラスでの互いのかかわりを深める。
- ③他のクラスの合唱を鑑賞し、良い点を学び合う。
- ④3年生の卒業を祝い、これまで学校のために先頭になって活動してくれたことに対して感謝の気持ちを表すとともに、在校生が3年生の活動を受け継いで、来年度への活動の意欲を高める。

いよいよ今年度最後の学校行事である「ありがとうを歌う会」(2/28)と「第65回卒業式」(3/14)が近づいてきました。今のクラスで過ごす時間は今日を含めて、1・2年生24日、3年生19日(授業日数)です。まさしくラストスパート、1年間の総まとめの時期といえます。



この1年間、さまざまな出会いや取り組みの中で、ともに喜び、ともに悲しみ、ともに頑張り、ともに支えあいながら絆を深めたり、トラブルが起こったりなどたくさんの出来事があったと思います。それらのすべての場面には、励ましあい、つながりあった多くの「仲間」の姿があったはずですよ。授業や行事、班活動や委員会活動、生徒会活動やクラブ活動などをとおして、みなさんが大きく成長できたのは多くの「仲間」がそばにいたからではないでしょうか。もちろん、家族や地域の方々、先生方や学校のスタッフの力も大いにあったと思います。

「ありがとうを歌う会」の成功に向けて音楽の授業に加え、クラス練習も始まりました。最初はどうもいかないかもしれませんが、みんなの気持ちを合わせれば、きっと心のハーモニーが奏でられるはずです。本番では、1年間のさまざまな思いを、仲間とともに合唱を通じて表現してください。

体育館に響くみなさんの素敵な合唱によって、さわやかな感動をともに分かち合えることを心から楽しみにしています！

保護者のみなさまもぜひ、子どもたちの頑張っている姿を見ていただき、素敵なハーモニーを聴いていただきたいと思います。多くのみなさまのご来校を心よりお待ちしております。



※「一致団結」(いっちゃんけつ)・・・多くの人々が、ある目的に向かって心を合わせ、まとまって事をおこなうこと。

友だちの風景

宮澤 章二

まず ぼくがいて
つぎに きみがいるのか
まず きみがいて
つぎに ぼくがいるのか

雨上がりの かたつむり 二ひき
並ぶ その姿を見つめながら
存在するもの あり方を 思う

そうだ まずも つぎにも いらない
ぼくが いま きみに
きみが いま ぼくに
いっしょに <やあ> と 笑いかける
——だから 仲間なのではないか

並んで歩み いっしょに学ぶ
だから 友だちなのではないか



「行為の意味/青春前期のきみたちに」
ごま書房新社より

